

元気シルバーさん 環境向上に「役

9月20日は、老人会全国一斉社会奉仕の日です。各地区でそれぞれに作業が行われました。当地区では農地に隣接する市道の清掃作業を行いました。



夏の名残がいつまでも続く暑い彼岸の入りでしたが、29名の参加で作業が行われました。予め、役員の手によって市道の雑草に対して処理が行われているところもありました。

作業は8時半から二つの班に分かれて始まりました。一つは地域北側の県道との合流点から南に作業を進めま

す。もう一つのグループは一番南側の合流点からです。

道路脇の水路には投げ捨てられた空き缶やペットボトルなども少なくありません。草を刈るうちに新たなゴミが出てきます。約2時間の作業で市道は見違えるようにきれいになりました。

従来は、ボランティア作業でしたが、今年から「八方原の環境を守る会」を通じて農地・水・環境向上対策から、2時間分の日当を支給することができるようになりました。

農地管理作業の日当支払額決定

農地・水・環境向上対策の今までの補助事業と大きく異なるのは、共同作業に日当が支払われることです。何年か後に来るかも知れない食料不足の時代を見越して、農地を適正に保つ必要があるという考えです。

八方原の環



境を守る会にも8月初旬に交付金の一部が届きました。会では役員会を開き、対象となる作業、作業方法によ

る支払基準の策定等を行いました。一斉に行う作業もあれば、各自が受け持ちを決めて指定期間に行うものもあります。また作業内容が年度によって異なる従来からの方法を変えることなくできるように、細部の調整や、実地調査も行いました。

農地と水、環境を守るために、少しでも役に立てば良いかと考えています。詳細についてご意見などがありましたら、会の方までご連絡下さい。

小郡花いっぱいコンクール



花の種類や配置など細かに計算された6班の花壇

サルビアの花を中心におごり地域の各団体が花壇づくりによる環境美化のコンクールが行われています。

当地区6班の担当する花壇はその規模、花の美しさ、管理の良さなど圧倒的です。過去5年間連続「最優秀」を獲得し、今年からは「山口県花いっぱい運動」の対象となっています。そこでも優良団体として表彰されました。

この花壇の管理には大変なご苦労があります。水やりや雑草管理も早朝から行っておられました。また水やりのエンジンポンプの音の近隣への

配慮から、水道に切り換えられました。他の班でもエンジンポンプを使用するところがありますが、早朝からの騒音への配慮は今後には必要になるかもしれません。

環境美化の共同作業を通じて、地域のふれあいや結束を高めることも、この運動の一つの目標です。しかし、逆にトラブルの原因になっていることも、総集会で議論になりました。作業の本来の目的や作業の分担などしっかりと話し合う必要があるようです。



3・4班のサルビアは巨大に育った

もともとは、農家を中心だったこの地区でも、半数以上は非農家です。苗づくりから始めることが負担に感じてもらえる班長さんも少なくないと思います。また、決められた作業時刻に現地に行くとも既に作業は終了しているというところもありました。無理なく、楽しくやれるようしたいですね。

案山子のある風景



案山子は稔った米を鳥から守るための脅しでしたが、近年見ることは殆ど無くなりました。今年の秋、小郡地区で3つの案山子を見つけました。一つは新町東下の田んぼに2体、もう一つは岩屋にありました。上の画像は新町のもので、肩を怒らせ、目を吊り上げて、周囲を睨んでいます。昔の藁人形とはひと味違いますが、厳しい表情とは裏腹に、こころの和む実りの秋でした。



刈り取り作業は天候との勝負、雨降りは作業中止

積み込み作業にご協力お願いします

9月23日より稲刈りが始まりました。10月半ばまで作業は続きます。

刈り取った米はそれぞれの田んぼごとに袋に入れられ、トラクに積み込んでライスセンターに運びます。

トラクに積み込む際は、クレーンを使用しますので、農道は一時的に車両の通行ができなくなる場合があります。僅かの時間ですので、ご理解下さい。できれば、トラクでの積み込み作業が見えましたらできるだけ、迂回して頂きまして、作業にご協力いただきますようお願いいたします。